

# ブドウ（無核・無加温栽培）の栽培・防除暦（令和3年版）

生 産 履 歴 の 記 帳 を 行 い ま し よ う	月	旬	生育相	管理作業	対象病害虫	基幹防除			100% 当たり 薬量	補完防除及び注意事項	散布日 散布量 記入欄	農 薬 散 布 時 は 飛 散 防 止 に 努 め ま し よ う
						FRACコート（殺菌剤）	IRACコート（殺虫剤）					
	1		休眠期	発芽促進(CX-10)処理 主枝延長枝への芽傷処理	◎越冬病害	罹病枝、巻づる、せん定枝、落葉は、園外に持ち出す 防風垣を整備し、園内の通風を良くする						
	2	上		ビニル被覆 灌水	◎晩腐病、褐斑病 黒とう病	ペフラン液剤25	M7	250倍	400cc		月 日	
	3	上中下	萌芽直前 萌芽期	灌水	◎べと病 黒とう病	キノドーフロアブル	M1	600倍	166cc	萌芽後は霜害対策を講じる	月 日	
	4	上中下	発芽期 展葉期 展葉10枚 開花始め	芽かき 灌水 新梢誘引 摘心・花穂整形・摘房 副梢除去	◎べと病、褐斑病 晩腐病、黒とう病 ◎べと病、褐斑病 晩腐病、黒とう病 ◎灰色かび病、 晩腐病	ジマンダイセン水和剤	M3	1,000倍	100g	※ 病害は十分な散布量(300%/10a以上)で 初期発生を確実に抑える ○アカガネサルハムシ スミチオン水和剤40 1,000倍 1B	月 日	
	5	上	盛期	第1回目ジベ処理 (2~3回に分けて)						○晩腐病(多発園:落花期) 7ミスター107フロアブル 1,000倍 11		
			終期 果粒肥大期	第1回目ジベレリン処理 (巨峰系4倍体品種の場合 ジベレリン12.5ppm+フルメット5ppm)						【実施中心日: 月 日】		
		中	灌水 摘粒、摘房 第2回目ジベ処理 (1回目から約10日後) 花がら落とし	◎灰色かび病 黒とう病 ◎チャノキアザミウマ	フルーツセイバー	7	1,500倍	66g	※ 灰色かび病は耐性菌発生 の恐れがあるため、同一農薬 を連用しない ○灰色かび病 バスター顆粒水和剤 1,500倍 17	月 日		
			コルト顆粒水和剤	9B	3,000倍	33g	○チャノキアザミウマ アクトラ顆粒水溶剤 2,000倍 4A					
		下	果粒肥大期	第2回目ジベレリン処理 (巨峰系4倍体品種の場合 ジベレリン25ppm)						【実施中心日: 月 日】		
			摘粒	◎晩腐病、褐斑病 ぶに病、黒とう病 ◎アザミウマ類、 ハマキムシ類	袋掛け前 オンリーワンフロアブル	3	2,000倍	50cc	※ 袋掛け前にアザミウマ類を必ず防除する ○コウモリカ カットサイトS 原液~1.5倍(21日前まで) ロビソット スプレー噴射(前日まで)	月 日		
	6	上	硬核期	袋掛け (できるだけ昼温を下げる)		ティアナWDG	5	5,000倍	20g	※ 環状剥皮(満開30~35日後)	月 日	
		中	果粒軟化期	新梢誘引 灌水	◎褐斑病 黒とう病 ◎べと病	ビニール除去前	3			【袋かけ後】 ○チャノキアザミウマ(多発時) ダントツ水溶剤 2,000倍(前日まで) エクセルSE 5,000倍(前日まで)	月 日	
		下	着色開始	副梢除去(1~2葉残し) ビニル除去		オンジャンフロアブル(7日前まで)		2,000倍	50cc	○ハクニ類 スターマイトフロアブル 2,000倍(14日前まで) 25A	月 日	
						ランマンフロアブル(14日前まで)		2,000倍	50cc	○ハマキムシ類 サムコフロアブル10 5,000倍(前日まで) 28	月 日	
	7	上中下	果粒軟化期 成熟期	新梢誘引 適正着果量確認 新梢管理	◎べと病	ムッシュホルド-DF	M1	500倍	200g	○べと病 エトフィンフロアブル 1,000倍(7日前まで) 22	月 日	
						又はICホルド-48Q	M1	30倍	3.3kg	レバースフロアブル 2,000倍(7日前まで) 40	月 日	
	8	上中		収穫始め 収穫終わり お礼肥						○褐斑病 オンリーワンフロアブル 2,000倍(前日まで) 3	月 日	
	9				◎べと病 ◎ブドウトラカミキリ	ムッシュホルド-DF 又はICホルド-48Q スミチオン水和剤40	M1 M1 1B	500倍 30倍 800倍	200g 3.3kg 125g	※ スミチオン水和剤40の散布は収穫後に限る 1B	月 日	
	10				◎べと病	ムッシュホルド-DF 又はICホルド-48Q	M1 M1	500倍 30倍	200g 3.3kg	ブドウトラカミキリ発生時は、 ダントツ水溶剤 2,000倍を加用する 4A	月 日	
	11	上	落葉前後	秋肥	◎べと病	ムッシュホルド-DF 又はICホルド-48Q	M1 M1	500倍 30倍	200g 3.3kg	※ 早期落葉を避け、初霜まで葉を保つ	月 日	
	12	上	休眠期	土づくり・排水対策 (堆肥、苦土石灰、中耕) 縮間伐、整枝・せん定 巻づる除去						○白紋羽病 フロンサイト SC 500倍 50~100% ※ 灌水器で樹幹から半径1m程度の範囲で 数か所に灌注処理。かぶれに注意 29	月 日	

注1) 令和2年10月28日現在の登録内容に基づき記載  
注2) 農薬使用時期・使用回数等については別紙参照

## 【施肥基準例】

くみあいぶどう配合1号(7-7-7)使用の場合 (10aあたり)

時期	肥料名	生産量		
		1.5t	1.8t	2.1t
お礼肥 (収穫直後)	尿素 又は(硫安)	100g/樹 又は(200g/樹)		
秋肥 (11月上旬)	くみあい ぶどう配合1号	4袋	6袋	7袋
土づくり (12月上旬)	堆肥	完熟牛ふん堆肥2t		
土づくり (12月上旬)	苦土石灰	100kg		

## 【植物成長調整剤】

薬剤名	使用目的	使用時期	使用方法	希釈倍数	散布量	本剤の使用回数
CX-10	休眠打破による新梢の萌芽促進及び発芽率の向上	収穫後発芽前	結果母枝に散布又は塗布	10~20倍	150~200% /10a 以内	1回
STジベラ錠 (巨峰系4倍体品種) [無核栽培]	<2回処理> 無種子化と果粒肥大促進	満開時~ 満開3日後 満開10日 ~15日後	花房浸漬 果房浸漬	12.5~25ppm 25ppm	-	2回
フルメット液剤 (巨峰系4倍体品種) [無核栽培]	着粒安定	満開時~ 満開3日後	花房浸漬	2~5ppm	-	1回
ストマイ液剤20 アグレプト液剤	無種子化	満開予定 日14日前~ 開花始期	散布又は 花房浸漬	1,000倍 (200ppm)	-	1回

※ クイーンニーナ、シャインマスカット：無核果率向上のために開花前にストマイ液剤20 1,000倍散布  
※ 使用薬剤、時期、濃度・量、方法については、品種毎にラベルを熟読の上使用する

＜農薬登録内容が変更されている場合があるので、農薬使用前には表示ラベルをしっかりと確認しましょう！＞